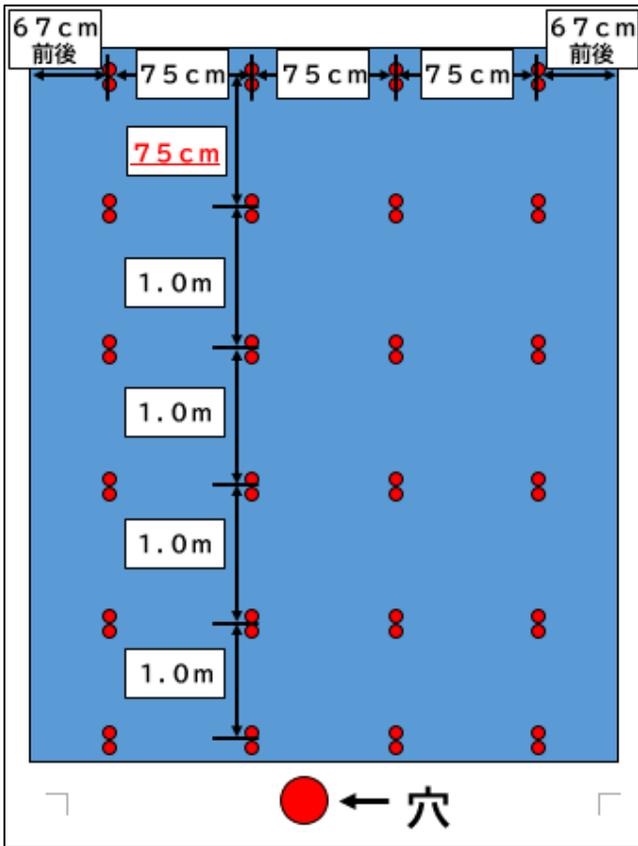


# 7 改良シート張り工 ( 1 / 7 )

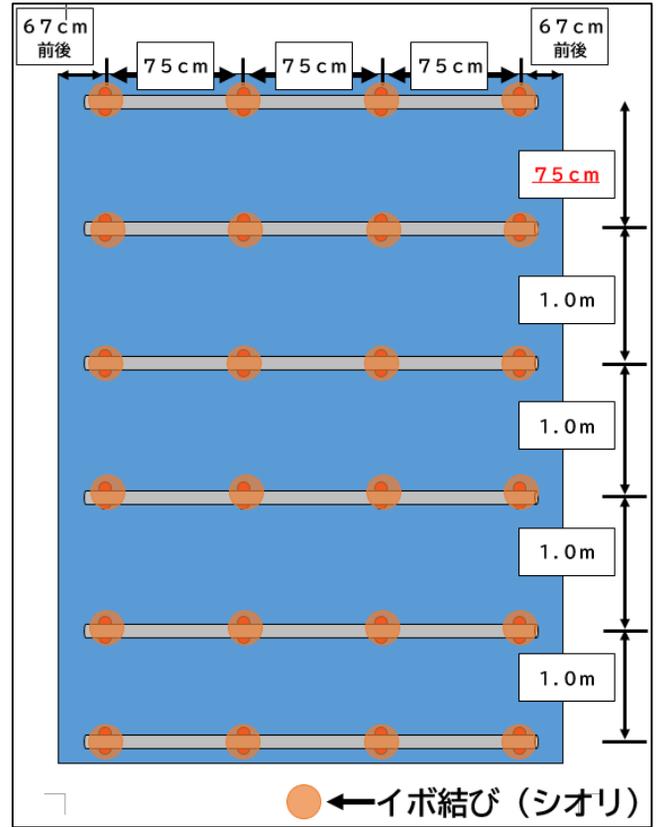
(1) ブルーシート ( 5.4 m × 3.6 m ) を堤防天端に広げる。

ブルーシートに合計 48 個の穴を空ける。

塩ビ管 ( 外径  $\phi$  48 mm × 内径  $\phi$  44 mm、3.0 m ) 6 本をブルーシートに乗せる。



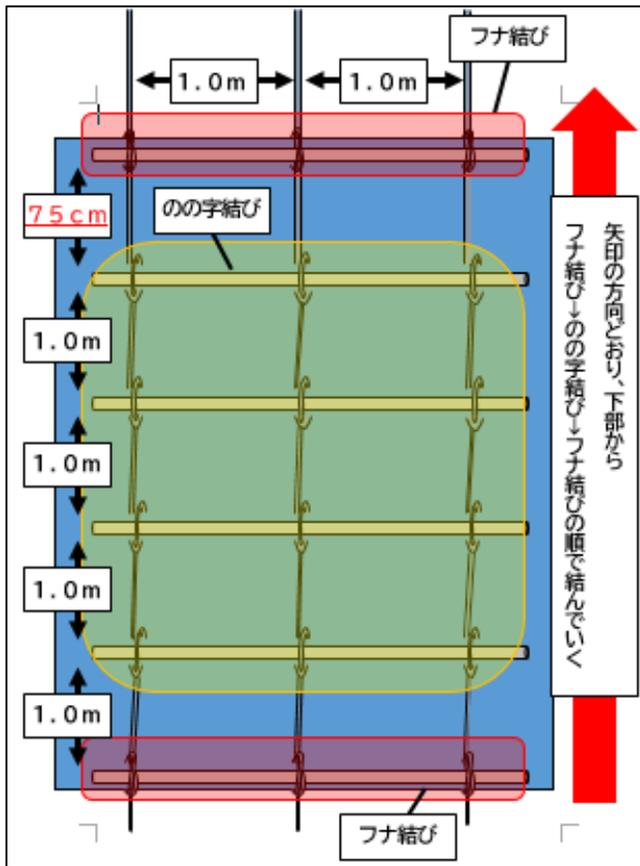
(2) 藁縄を使用し、塩ビ管とブルーシートをイボ結び ( シオリ ) で固定する。



## 7 改良シート張り工 (2/7)

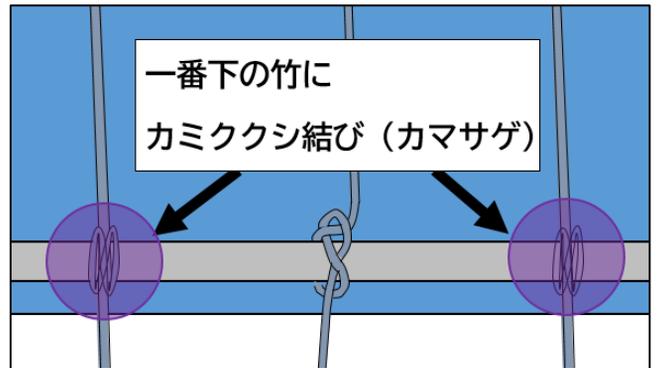
(3) クレモナロープ (シート張用・1.5m) 3本と塩ビ管を結束する。

シート下部から結んでいく。



(4) 土のう1袋につき、2本のクレモナロープ (重し土のう用・5m) を使用する。

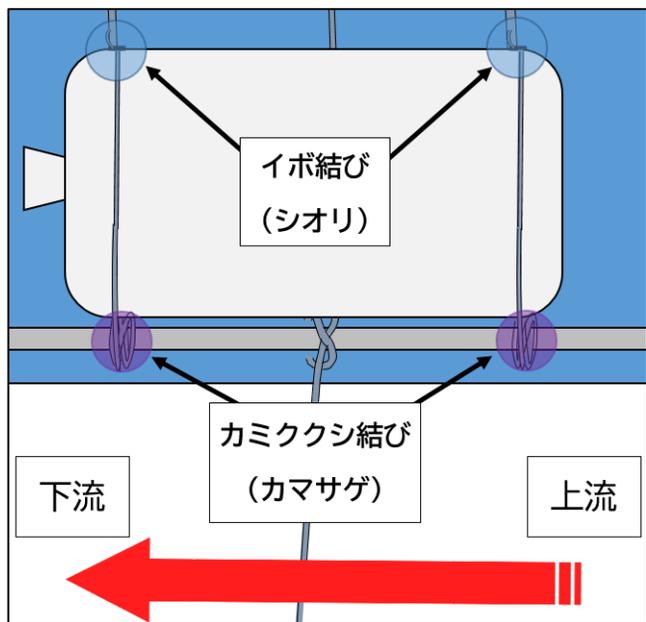
まず、一番下の塩ビ管に、土のうを乗せずにカミククシ結び (カマサゲ) を行う。



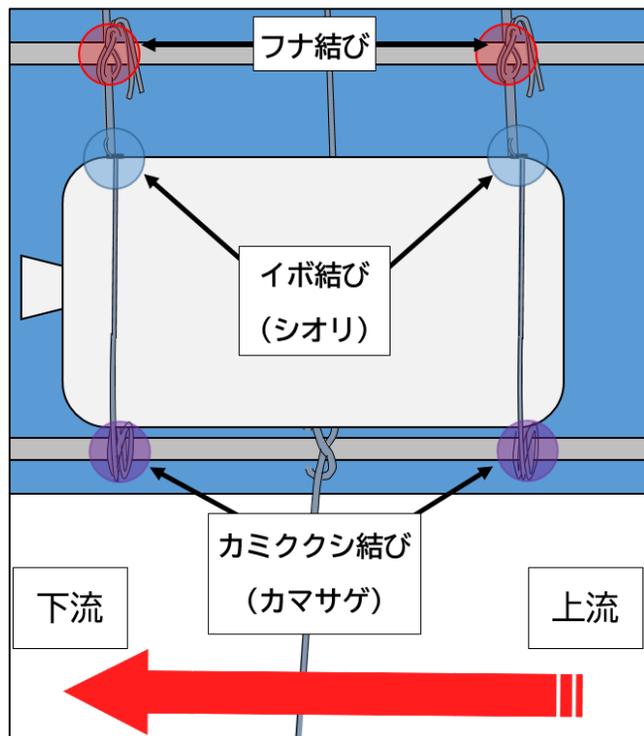
## 7 改良シート張り工 (3/7)

(5) 次に、一番下の塩ビ管に土のうを乗せる。土のうのしぼり口を下流側に向けて乗せること。

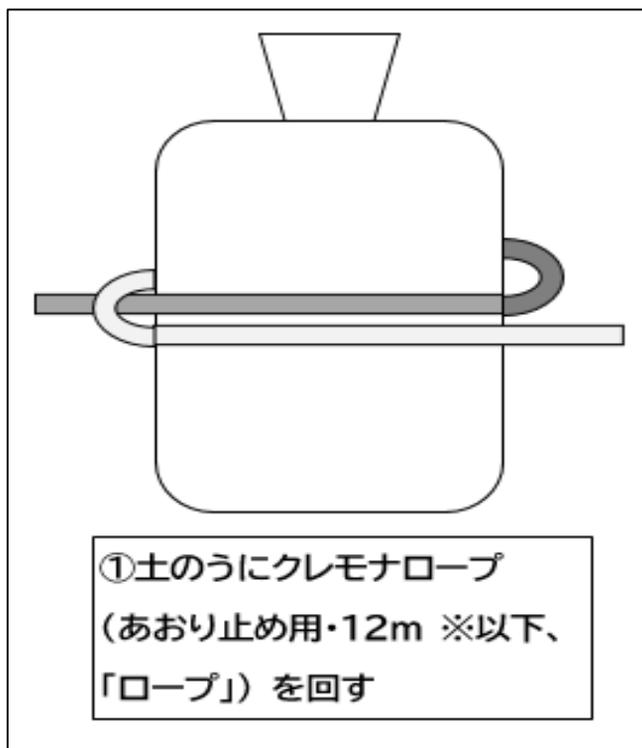
下のロープを上を持ってきて、図のとおり、イボ結び(シオリ)を行う。



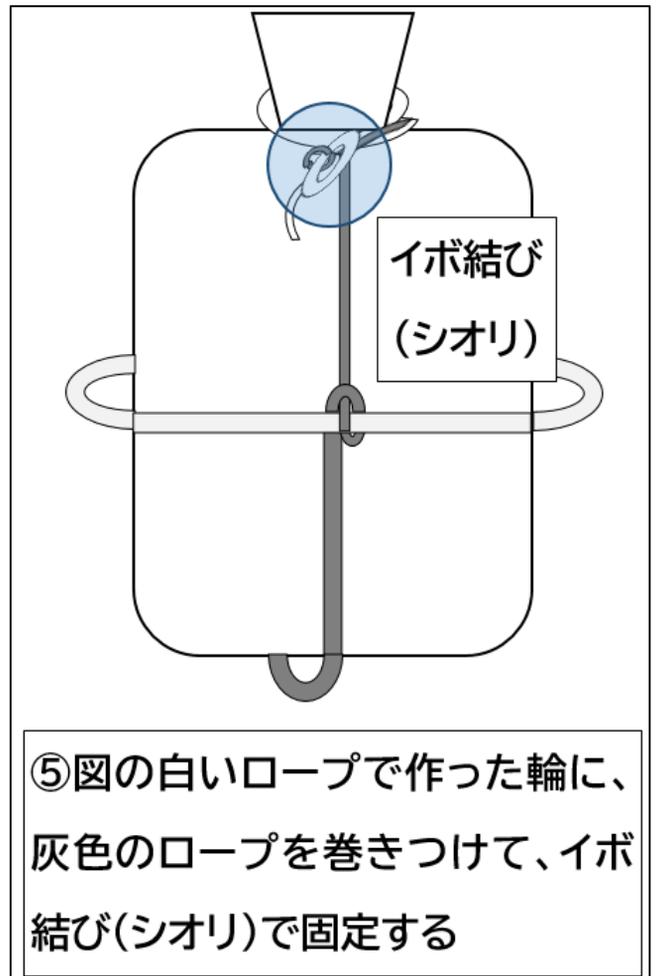
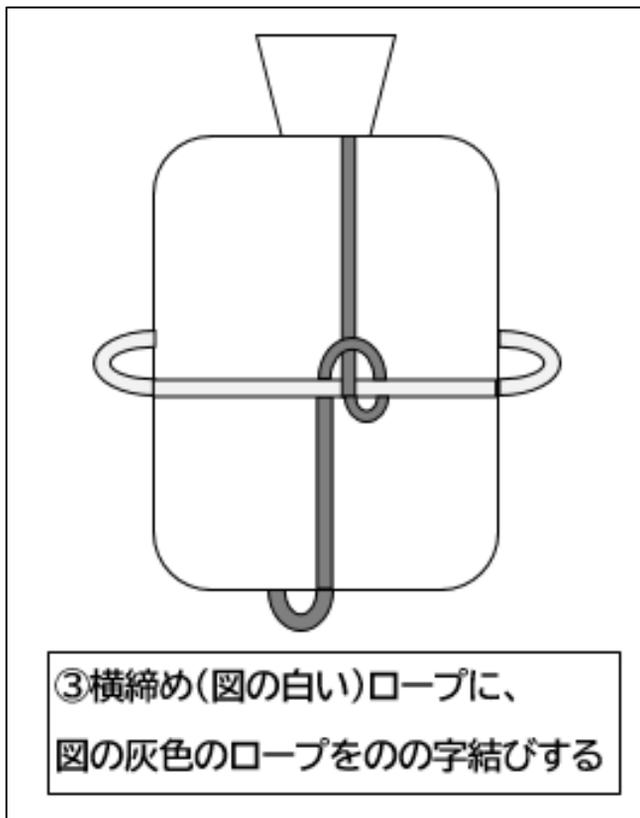
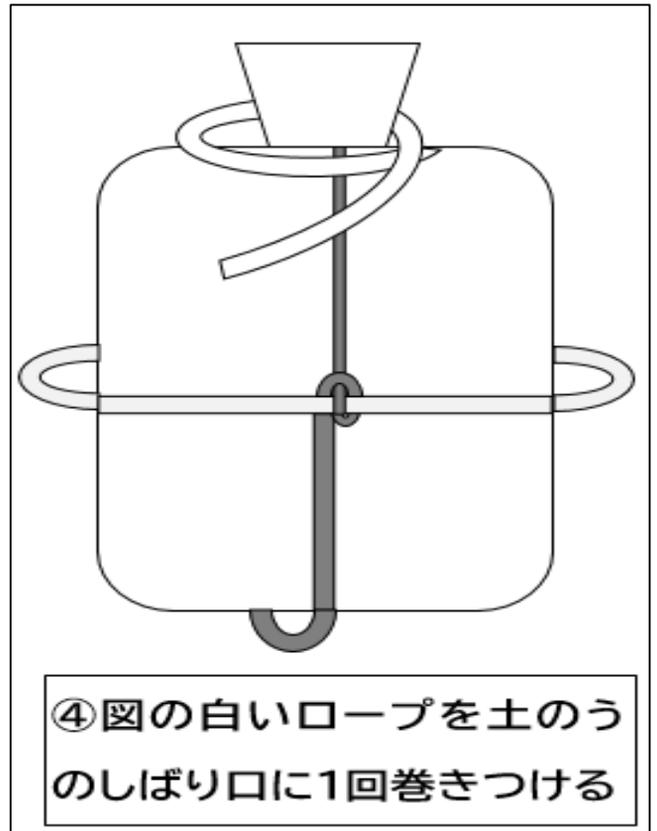
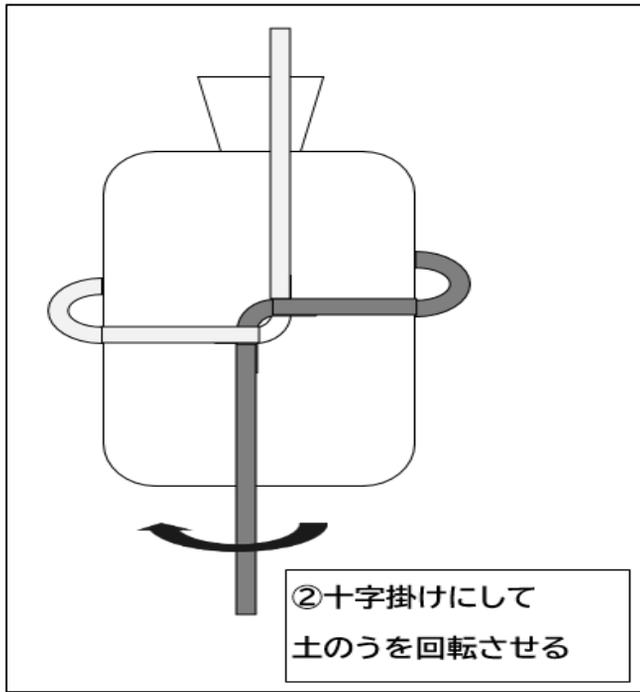
(6) 最後に、上段の竹に、フナ結びを行う。



(7) クレモナロープ (あおり止め用・12m) 1本を使用し、あおり止め用土のうを計2袋作成する。



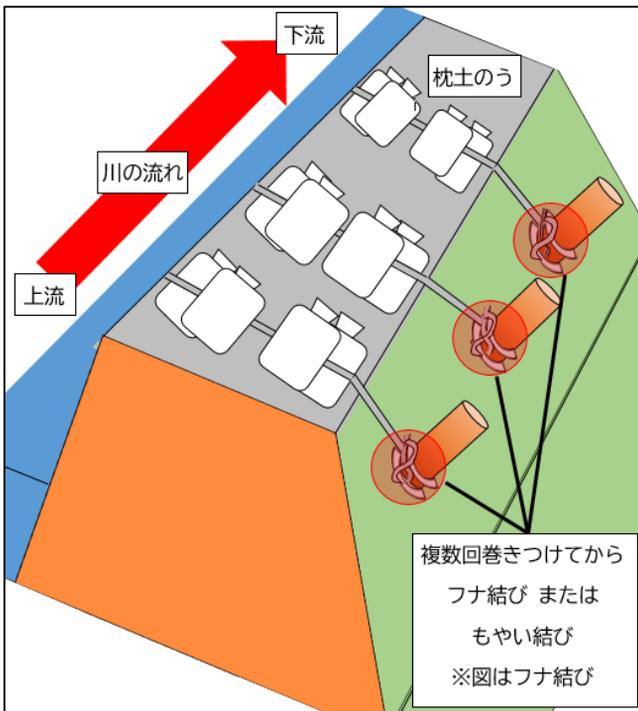
# 7 改良シート張り工 (4/7)



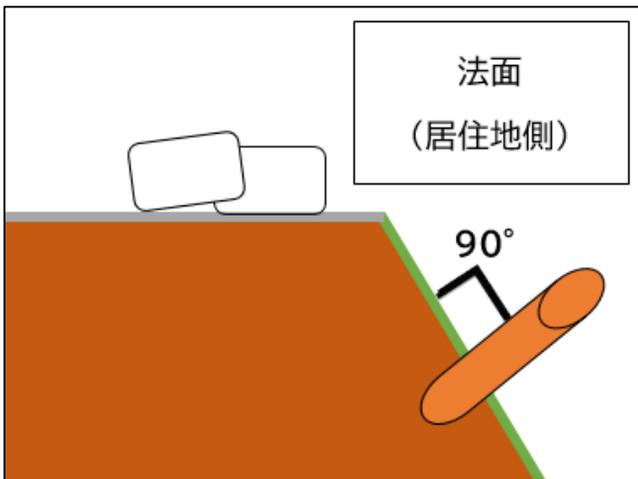
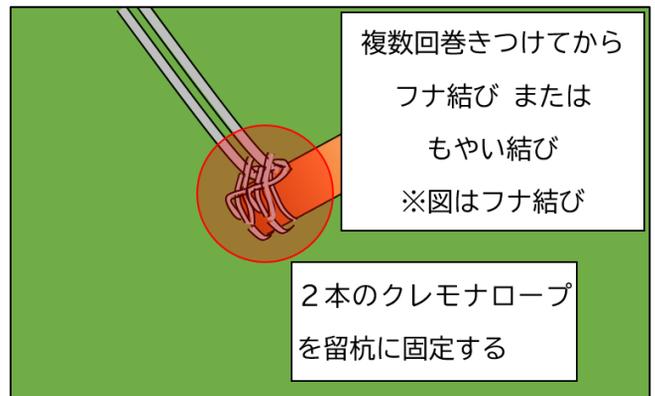
# 7 改良シート張り工 ( 5 / 7 )

(8) 留杭 (0.9 m) の打ち込みを、堤防の居住地側斜面に3か所行う。

枕土のう12袋は、堤防の両側の肩にそれぞれ2袋ずつ6か所、土のうのしばり口を下流側に向けて設置する。



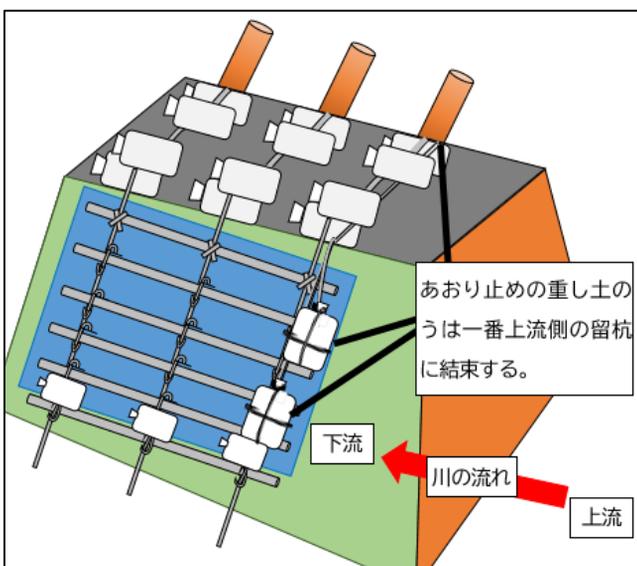
(9) (7) で作成した、あおり止め用土のうのクレモナロープの先を、一番上流部の留杭に複数回巻きつけてからフナ結びまたはもやい結びで結束する。



## 7 改良シート張り工 (6/7)

(10) 3本の留杭にクレモナロープ(シート張り用・15m)と重し土のうを付けたロープ1本を複数回巻きつけてからフナ結びまたはもやい結びで3か所結束する。

青ビブスを着用の上、クレモナロープ(命綱用・10m)を身体にもやい結びで巻き付けたうえで、シートを転がすように投げ込み、最後にあおり止めの重し土のうを上流側に入れる。



# 7 改良シート張り工 (7/7)



# (参考資料) 資材・器材一覧

## 7 改良シート張り工

資材（1組あたり）					
土のう (線無し)	ブルーシート (5.4 m × 3.6 m)	塩ビ管 (外径φ48 mm × 内径φ44 mm、 3.0 m)	留杭 (0.9 m)	藁縄	青ビブス
17袋	1枚	6本	3本	3玉	1着
クレモナロープ (シート張り用・ 1.5 m)	クレモナロープ (重し土のう用・ 5 m)	クレモナロープ (あおり止め用・1 2 m)	クレモナロープ (命綱用・10 m)		
3本	6本	2本	1本		
器材					
掛矢		鎌		カッターナイフ	
1個		1個		3個	